



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日
東

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇根 高司
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	51,009	△7.4	2,289	10.4	2,584	8.3	1,738	15.5
2020年3月期第3四半期	55,111	△9.0	2,073	△33.0	2,386	△31.3	1,504	△57.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,088百万円(158.6%) 2020年3月期第3四半期 1,194百万円(△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	87.64	—
2020年3月期第3四半期	73.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	96,441	56,243	56.5
2020年3月期	90,600	54,027	58.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 54,447百万円 2020年3月期 52,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	68,500	△6.1	2,900	12.6	3,200	9.3	1,900	95.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	20,652,400株	2020年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	813,311株	2020年3月期	813,271株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	19,839,125株	2020年3月期3Q	20,415,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済および国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。中国を中心とした回復や一部で持ち直しの動きもみられます。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、同感染症拡大の防止策を徹底し、生産活動等の維持、継続に努めるとともに、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（「事業の新陳代謝」や「真のグローバル化」など）に沿った重点施策を進め、事業の拡大や収益性の向上、事業開発の促進に注力してまいりました。業績面では、同感染症の影響により需要環境が悪化し、販売数量は大幅に減少したものの、高付加価値製品の拡販などにより収益性は改善しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は510億9百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は22億89百万円（同10.4%増）、経常利益は25億84百万円（同8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億38百万円（同15.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

製紙業界は、eコマース市場（電子商取引）の世界的な成長に伴う、段ボール原紙など板紙の潜在需要はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要低下がありました。また、印刷業界では、同感染症の影響により出版・広告分野で市場の縮小が加速しております。このような環境のもと、当事業におきましては、サイズ剤に加え板紙向け紙力増強剤などの販売が大幅に減少しましたが、中国などのアジアでは回復基調となりました。

その結果、売上高は124億66百万円（前年同期比14.0%減）、セグメント利益は3億54百万円（同7.0%減）となりました。

<コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、車載向け電子部品などは一時的な需要低下がありました。また、印刷インキ業界では、同感染症の影響により出版・広告分野で市場の縮小が加速しております。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂などの販売は大幅に減少しましたが、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は5G関連分野の販売が好調に推移しました。

その結果、売上高は113億97百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は10億77百万円（同49.8%増）となりました。

<粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車関連分野を中心とした需要低下がありました。また、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要は堅調に推移しておりますが、同感染症の影響による一時的な弱さが見られました。このような環境のもと、当事業におきましては、中国でのロジン系粘着・接着剤用樹脂の販売が回復しましたが、水素化石油樹脂は、市場における需給バランスの軟化や同感染症の影響により、販売が減少しました。

その結果、売上高は180億円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は9億50百万円（同2.4%減）となりました。

<機能性材料事業>

電子工業業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車関連分野や電子部品などの需要が低調でした。一方で、同感染症の拡大を背景とするテレワークの増加などによる電子媒体関連や5G関連分野の需要は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、精密部品洗浄剤や電子材料用配合製品などの販売は減少しましたが、ファインケミカル製品、精密研磨剤および低誘電ポリイミド樹脂の販売は堅調に推移しました。

その結果、売上高は89億33百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は3億31百万円（同0.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ58億41百万円増加し、964億41百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が5億30百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が11億97百万円、有形固定資産が29億10百万円、投資有価証券が17億16百万円増加したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が5億51百万円、短期借入金が28億26百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ36億26百万円増加し、401億98百万円となりました。

純資産は、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ22億15百万円増加し、562億43百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当社グループにおける業績動向や景況感を踏まえて見直しをおこなった結果、2020年11月2日に公表しました2021年3月期の通期業績予想を以下のとおり修正しております。

(参考)

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	67,500	2,700	3,000	1,800	90.73
今回修正予想 (B)	68,500	2,900	3,200	1,900	95.77
増減額 (B - A)	1,000	200	200	100	—
増減率 (%)	1.5	7.4	6.7	5.5	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	72,967	2,574	2,927	1,732	85.35

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,636	9,106
受取手形及び売掛金	22,789	23,986
電子記録債権	1,656	1,903
商品及び製品	8,803	8,546
仕掛品	912	1,029
原材料及び貯蔵品	6,399	6,656
その他	1,248	1,236
貸倒引当金	△109	△106
流動資産合計	51,337	52,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,227	8,155
機械装置及び運搬具（純額）	6,729	6,416
土地	5,147	4,991
建設仮勘定	10,310	13,599
その他（純額）	630	792
有形固定資産合計	31,044	33,955
無形固定資産		
のれん	262	115
その他	988	1,118
無形固定資産合計	1,250	1,233
投資その他の資産		
投資有価証券	5,919	7,636
退職給付に係る資産	264	246
繰延税金資産	268	278
その他	349	305
貸倒引当金	△63	△61
投資その他の資産合計	6,738	8,404
固定資産合計	39,034	43,593
繰延資産		
開業費	228	488
繰延資産合計	228	488
資産合計	90,600	96,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,174	9,726
短期借入金	5,100	7,926
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	293	342
未払消費税等	212	165
賞与引当金	1,177	633
役員賞与引当金	45	35
修繕引当金	—	218
設備関係支払手形	227	139
その他	4,780	5,032
流動負債合計	21,011	29,220
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	3,945	3,846
繰延税金負債	602	1,180
修繕引当金	45	—
退職給付に係る負債	322	327
資産除去債務	339	343
その他	307	281
固定負債合計	15,560	10,978
負債合計	36,572	40,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	44,969	45,834
自己株式	△1,210	△1,210
株主資本合計	50,665	51,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,886	2,972
為替換算調整勘定	494	422
退職給付に係る調整累計額	△499	△479
その他の包括利益累計額合計	1,881	2,915
非支配株主持分	1,480	1,796
純資産合計	54,027	56,243
負債純資産合計	90,600	96,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	55,111	51,009
売上原価	43,081	38,948
売上総利益	12,030	12,060
販売費及び一般管理費	9,956	9,771
営業利益	2,073	2,289
営業外収益		
受取利息	20	33
受取配当金	178	161
不動産賃貸料	74	70
受取保険金	148	29
受取補償金	6	82
その他	96	135
営業外収益合計	524	514
営業外費用		
支払利息	112	105
社債発行費	25	—
為替差損	19	31
その他	54	82
営業外費用合計	211	219
経常利益	2,386	2,584
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	352	321
為替換算調整勘定取崩益	7	—
特別利益合計	360	327
特別損失		
固定資産除売却損	27	51
固定資産評価損	0	—
出資金売却損	15	—
出資金評価損	—	2
操業休止関連費用	90	—
特別損失合計	132	53
税金等調整前四半期純利益	2,615	2,858
法人税、住民税及び事業税	496	733
法人税等調整額	325	78
法人税等合計	821	811
四半期純利益	1,793	2,046
非支配株主に帰属する四半期純利益	288	307
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,504	1,738

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,793	2,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	1,086
為替換算調整勘定	△727	△64
退職給付に係る調整額	△26	20
その他の包括利益合計	△598	1,042
四半期包括利益	1,194	3,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968	2,773
非支配株主に係る四半期包括利益	226	315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の影響について、世界的な感染拡大により、当社グループに関連する製紙業界、印刷インキ・塗料業界、自動車業界などの需要環境が想定以上に悪化した第2四半期連結累計期間の業績等も踏まえ、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した同感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定を変更しております。

当連結会計年度における同感染症の影響につきましては、このような状況が2021年3月期を通して継続するものの、当第3四半期連結会計期間より緩やかに回復した需要が第4四半期連結会計期間以降も持続するものと仮定し、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性の判断等について会計上の見積りをおこなっております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、感染状況の急速な悪化や感染拡大の長期化による経済活動の停滞が懸念される状況下において、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,493	12,106	19,587	8,697	54,885	225	55,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	22	22
計	14,493	12,106	19,587	8,697	54,885	247	55,133
セグメント利益	380	719	973	328	2,402	26	2,428

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,402
「その他」の区分の利益	26
全社費用の配賦差額(注)1	216
コーポレート研究開発費用(注)2	△218
営業外損益(注)3	△352
四半期連結損益計算書の営業利益	2,073

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,466	11,397	18,000	8,933	50,798	211	51,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	28	28
計	12,466	11,397	18,000	8,933	50,798	239	51,037
セグメント利益	354	1,077	950	331	2,713	19	2,733

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,713
「その他」の区分の利益	19
全社費用の配賦差額(注) 1	51
コーポレート研究開発費用(注) 2	△279
営業外損益(注) 3	△216
四半期連結損益計算書の営業利益	2,289

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。